

第 34 回和白干潟まつり ラムサール宣言

「和白干潟まつり」は、1989 年に和白干潟の環境を守り、次の世代につなげようと「和白干潟を守る会」が呼びかけ、グリーンコープ生協福岡東支部と共に開催し、今年で 34 周年を迎えました。

干潟まつりでは第 20 回以降「ラムサール条約登録を目指して」をテーマに掲げて開催しています。

和白干潟は 2004 年環境省から水鳥の保護とその環境保全を図る国際条約「ラムサール条約」の登録候補地の一つに選ばれています。また、2009 年には西日本で唯一自然海岸の残る干潟として「にほんの里 100 選」に選ばれ、2013 年には日本ユネスコ協会連盟第 5 回「プロジェクト未来遺産」にも登録されました。

近年地球温暖化は気候危機と叫ばれ、生物多様性や湿地がもたらすその他の恩恵を維持するために、湿地の重要性がより高まっています。残されたすべての湿地を賢明に保全することが重要です。

和白干潟がたくさんの生き物の命をこれからもつないでいくために、次に開かれる国際会議において和白干潟が登録されるようお願い、今年も「第 34 回和白干潟まつりラムサール宣言」として以下について宣言します。

1. 私たちは、これからも大切な和白干潟の保全活動と環境保全の啓発活動を続けて行きます。
2. 福岡市に、「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」の前提となる国の特別鳥獣保護区申請の方針を定め、具体化へ向けて早急に取り組むことを求めます。それと同時に、市民に向けて、和白干潟が福岡市の貴重な自然であり、保全の大切さを理解できる取り組みを進めることを求めます。
3. 福岡県に、「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」の前提となる国の特別鳥獣保護区申請を福岡市へ働きかけることを求めます。
4. 環境省に「博多湾・和白干潟のラムサール条約登録」の前提となる特別鳥獣保護区設定申請を福岡市へ促すことを求めます。

2022 年 11 月 20 日

第 34 回和白干潟まつり参加者一同